



給食だより

令和7年度 1月号
都立世田谷泉高等学校

もうすぐ冬休みですね。生活リズムを整えるには、早寝・早起き・朝ごはんが基本です。寒くて布団から出るのがつらい季節ですが、早起きをして朝ごはんをきちんと食べるようにしましょう。

1月24日～30日は全国学校給食週間です！

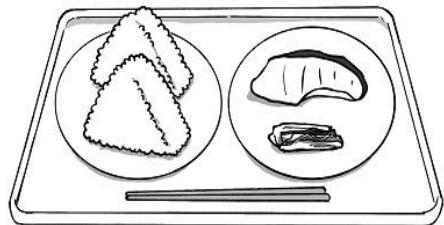
日本の学校給食は、明治時代に昼食を持参できない子どもたちのために食べ物を用意したのが始まりです。今月は、学校給食の歴史を紹介します。

①給食のはじまり【明治22年】

学校給食は明治22年、山形県鶴岡市でお弁当を持参できない子どもたちに昼食を提供したことが始まりです。当時の給食は、おにぎり・焼き魚・漬け物でした。



学校給食のはじまり

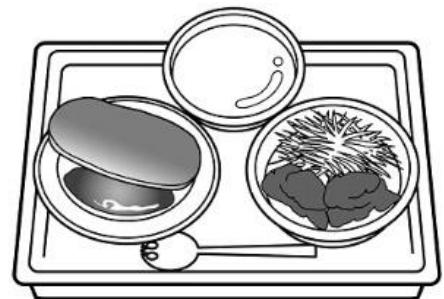


②パンと脱脂粉乳・くじら肉【昭和30年代】

全国の小学校で完全給食が実施されるようになりました。当時の人気メニューは、くじらの竜田揚げや、揚げパンなどでした。コッペパンは今よりもかなり大きかったそうです。



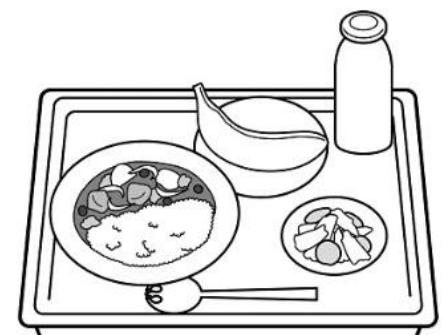
コッペパン・脱脂粉乳・くじらの竜田揚げ
せんきゅべつ・ジャム



③米飯給食の開始【昭和50年代】

学校給食に米飯が導入されるようになりました。ご飯の普及により、栄養のバランスが考えられた、おいしい給食が提供されるようになりました。人気献立のカレーライスも登場し、メニューのバリエーションが広がっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ



④現在の給食

主食・主菜・副菜・汁物を基本として、バラエティに富んだメニューを提供しています。また、地域の地場産物や郷土料理、世界各国の料理などのほか、リクエストメニューを取り入れています。

